

国・天然記念物（地域を定めず）

ヤマネ

指定年月日 昭和50年6月26日



（提供：大野哲也氏）

ヤマネは本州、四国、九州の山地に広く分布する小型の齧歯類で、1属1種の固有種である。森林にすみ、樹木の空洞部などに巣を作ることが多い。体の特徴は、一見リスに似ているが、リスよりはるかに小さく（体長約8 cm）、四肢も短い。また、背にそって1本の黒茶色のすじが入っている。

ヤマネは気温の変化にほぼ平行して体温が低下し、それに伴って生理機能も低下して昏睡状態になる「完全冬眠」する動物としても有名である。